岩盤ボーリング柱状図

調査名	二級河川　瀬野川水系　瀬野川支川１７　外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	No.4(瀬野川17)	調査位置	広島県広島市安芸区中野三丁目	北緯	34° 24' 13.7168"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 2月16日～ 令和3年 2月17日	東経	132° 34' 06.0250"
調査業者名		主任技師	現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者		
孔口標高	TP 123.12m	角度	180 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総削孔長	8.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	
試錐機	東邦地下工機DO型				
エンジン	ヤンマーディゼルNFD-9K	ポンプ	東邦地下工機BG-3B		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
	122.77	0.35		粘土質砂	淡茶								・盛土 ・整地時に投入された人工土層	
1				玉石混りシルト質砂	茶褐～灰							0[0](100) 0[0](100)	・土石流堆積物 ・φ7.5～25cm大の玉石が混在 ・マトリックスは礫混りシルト質砂状 ・礫はφ2～20mm大 ・細粒分を少量混入 ・砂は細～粗砂	2/17 1.50
2	120.37	2.75												
3				礫混り砂	濃灰～茶灰							0[0](100) 0[0](100)	・河床堆積物 ・φ2～5mm大の礫を少量混入 ・細粒分を微量～少量混入 ・砂は細～粗砂 ・GL-3.50～3.80m間に、細粒分：砂分≒1：1の粘土質砂層を挟む	
4														
5	118.12	5.00												
6				花崗岩	淡褐灰	w2	h1	B	Ⅱ	b	CM	30[73](100) 30[55](100)	・短柱～棒状コアで採取される ・ハンマー打撃で塊状に砕ける ・傾斜70°前後で幅1mmの粘土細脈がほぼ50cm間隔で入る ・水平亀裂も発達している	
7														
8	115.12	8.00										32[67](100)		
9														
10														
11														
12														
13														

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
4	1.15	4 / 300		
	1.45			
7	2.15	7 / 300		
	2.45			
38	3.15	38 / 300		
	3.45			
20	4.15	20 / 300		
	4.45			
50以上	5.00	貫入不能		
50以上	6.00	貫入不能		
50以上	7.00	貫入不能		
50以上	8.00	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
2/16	1800	75／ケーシング	S/RD	0	40	0	W3 0	0
	90		HW/DB	1	160	0	W3 5	5
	300		S/打ぬき	0	80			
	2400			0	0	0	W3 0	0
	90		HW/DB	1	160	0	W3 5	0
	2400		S/打ぬき	0	0	0	W3 0	0
	90		HW/DB	1	160	0	W3 5	0
	1800		S／MC	1	40	0	W3 0	0
	1800							
	90		HW/DB	2	180	0	W3 5	5
	240	66	HW／DI	2	180			
2/17	240					0	W3 5	0